

東北—神戸 距離越え絆

「一緒に歩む」思い歌に

長田の市民合唱団



阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸  
・新長田から、東日本大震災の被災地へエール

オリジナルの  
応援歌が完成  
団員ら初練習 録音

「新長田音楽プロジェクト」人「再開発ビル活性化ネットワーク」と銘打って、再開「ットワーク」（大阪府）発ビルを活用した地域つが、地元の「新長田まちくりを支援するNPO法 づくり株式会社」などと  
ともに企画した。

オリジナルソングは「帰り道の途中」。作詞は、鈴木雅之さんのヒット曲「ガラス越しに消えた夏」などで知られる松本一さん。

「家も空も幸せも崩された。ただとわたしたちは心を崩さなかった」

松本さんは「新長田は

まだ復興の途中。東日本の被災地と一緒に歩んでいこう」との思いを歌詞に込めたという。これに作曲家集団「Y-T-S-I-P ROJECT（プロジェクト）」が曲を付けた。「クト」が曲を付けた。今月、地元在住者や、新長田市民合唱団として「1・17」にちなみ117人の団員を

を送るオリジナルソングが完成し、長田の住民ら63人が25日、神戸市長田区久保町6、再開発ビル「アスタクにつか4番館」で、初めての合同練習と録音をした。曲はCDにして来年3月、東北の被災地に届ける。  
(仲井雅史)

伝える  
震災17年

公募。うち63人がこの日、松本さんの指導で合同練習した。団員らは、数回の練習で息が合った歌唱をみせた。

長田区久保町の本町筋商店街で金物屋を営む山本真智子さん(64)は、娘と孫娘の3世代で参加。「震災で自宅が全壊したが、その後、娘が結婚し孫を授かった。慌てず、ゆっくり歩めば、笑える日も来る。そんな気持ちを含めて歌いました」と話した。

東日本と神戸・新長田。二つの被災地の復興を願う、オリジナルソングを歌う新長田市民合唱団「アスタクにつか4番館」オリジナル曲は来年1月17日、JR新長田駅前で開催される追悼行事で初披露。CDは全国販売も予定している。